



令和3年度 愛知人権教育推進のための 調査研究委託事業

あま市人権教育実行委員会

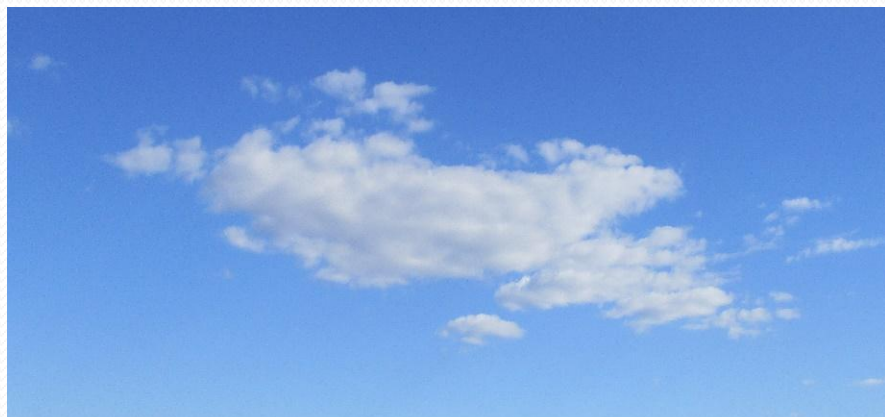
【目次】

- ① あま市の紹介
- ② テーマ及びその選定理由
- ③ 事業内容
- ④ 実行委員会について
- ⑤ 活動の実際
- ⑥ アンケートについて
- ⑦ 事業の成果と今後の課題(まとめ)



あま市公認キャラクター
あまえん坊

① あま市の紹介（風景）



① あま市の紹介（観光スポット）



あま市七宝焼アートヴィレッジ



イルミネーションフェスタinあま

① あま市の紹介（史跡・伝統文化）



甚目寺観音 南大門



萱津神社「香の物祭」



蓮華寺「二十五菩薩来迎会」



蜂須賀正勝公



福島正則公

② テーマ及びその選定理由

「多文化共生社会をめざして」

～外国人の方も安心して暮らせるまちづくりのために～



（本市の外国人登録者数）

平成22年4月	令和3年4月	増減	増減率
1, 666人	2, 575人	+909人	+35. 1%

（日本では・・・）

令和2年12月末時点で295万人以上が暮らしており、人・物・情報が地球規模で行き交う今日、地域や職場、学校など身近なところで国籍や民族の異なる人びとと接する機会が増えている。

（在住外国人が抱える問題の一例）

- ・日本語が話せない、よく理解できないため、役所や学校から必要な情報が届かない。
- ・地域や職場、学校の中での孤立や、外国人であることを理由とした不当な差別。



日本人と在住外国人の方々が互いに理解を深め合いながら、
住みやすいまちづくりを推し進めていくためには？



③ 事業内容

- (1) あま市国際交流協会が日本語教室を始め、在住外国人に対して行っている様々な支援の紹介や、在住外国人の方々への多文化共生についてのインタビュー等をまとめた啓発冊子の作成
- (2) あま市立甚目寺南中学校で行われる中学校人権教室での全校生徒に対する冊子の啓発と多文化共生及び人権に関するアンケートの実施



④ 実行委員会について

【実行委員会の構成】

- ・あま市人権擁護委員代表(津島人権擁護委員協議会東部地区委員会会長)
- ・あま市小中学校人権教育研究会会長 (あま市立甚目寺東小学校長)
- ・あま市国際交流協会会長
- ・あま市教育委員会教育部生涯学習課長
- ・あま市企画財政部人権推進課長
- ・あま市教育委員会教育部生涯学習課職員 2名(事務局)



【実行委員会の開催】

令和3年7月27日 第1回実行委員会

内容:事業の説明、実行委員会規約(案)の承認、
役員選出及び事業計画の承認

令和3年9月21日 第2回実行委員会

内容:教材作成の進捗状況の確認について

令和3年11月30日 第3回実行委員会

内容:中学校人権教室の事前打合せ(啓発冊子・アンケート
内容の確認)

令和4年2月8日 第4回実行委員会

内容:事業報告及び会計報告、今後の流れについて

⑤活動の実際

(1)啓発冊子の作成

【ページ構成】

「世界のあいさつ」

「外国人の方へインタビュー」

「私のマレーシア体験記」

「多文化共生を訪ねて」

「親子でキンパを作ってみよう！」

「あま市国際交流協会の事業」



～がいこくじん かた あんしん外国人の方も安心して暮らせるまちづくりのために～

たぶん かきょうせいしゃかい 多文化共生社会をめざして

れいおん あまだまかいちじみんきょういくでいしん 令和3年度愛知人権教育推進のための調査研究委託事業



たぶん かきょうせい 多文化共生とは

たぶん かきょうせいとは「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め合い、
たいどう かなたの ちがいを 受けとめ ともに 生きていくこと」を
いいます。

(略称：多文化共生の推進に関する研究会報告書より)

あま市人権教育実行委員会



「外国人の方へインタビュー」

○対象及び人数

市内在住・在勤のカナダ、ベトナム、中国、インド、ネパール、
ブラジル出身の計6か国11名

○質問内容

- Q1.「日本に来ておどろいたことは？」
- Q2.「日本の好きな食べ物を教えてください」
- Q3.「日本に来てからハマっていることは？」
- Q4.「母国の良いところを教えてください」
- Q5.「日本の良いところを教えてください」
- Q6.「あま市の良いところを教えてください」
- Q7.「たくさんの文化がともに暮らしていくためには何が必要？」
- Q8.「あま市の子どもたちにメッセージをお願いします」

「多文化共生を訪ねて」

あま市まちづくり委員会委員のご家族が経営のインド・ネパールカレー店取材した。

店主さん達から、世界一の高さを誇るヒマラヤ山脈の自然豊かな美しい景色や「※クマリ」と呼ばれる生きた人間の神様についてのお話を伺った。

※ネパールの生きた女神で、幼い少女から選ばれる。幸運をもたらすとされ、多くの人々の信仰を集めている。



(2) 中学校人権教室での啓発 (人権擁護委員との共催事業)



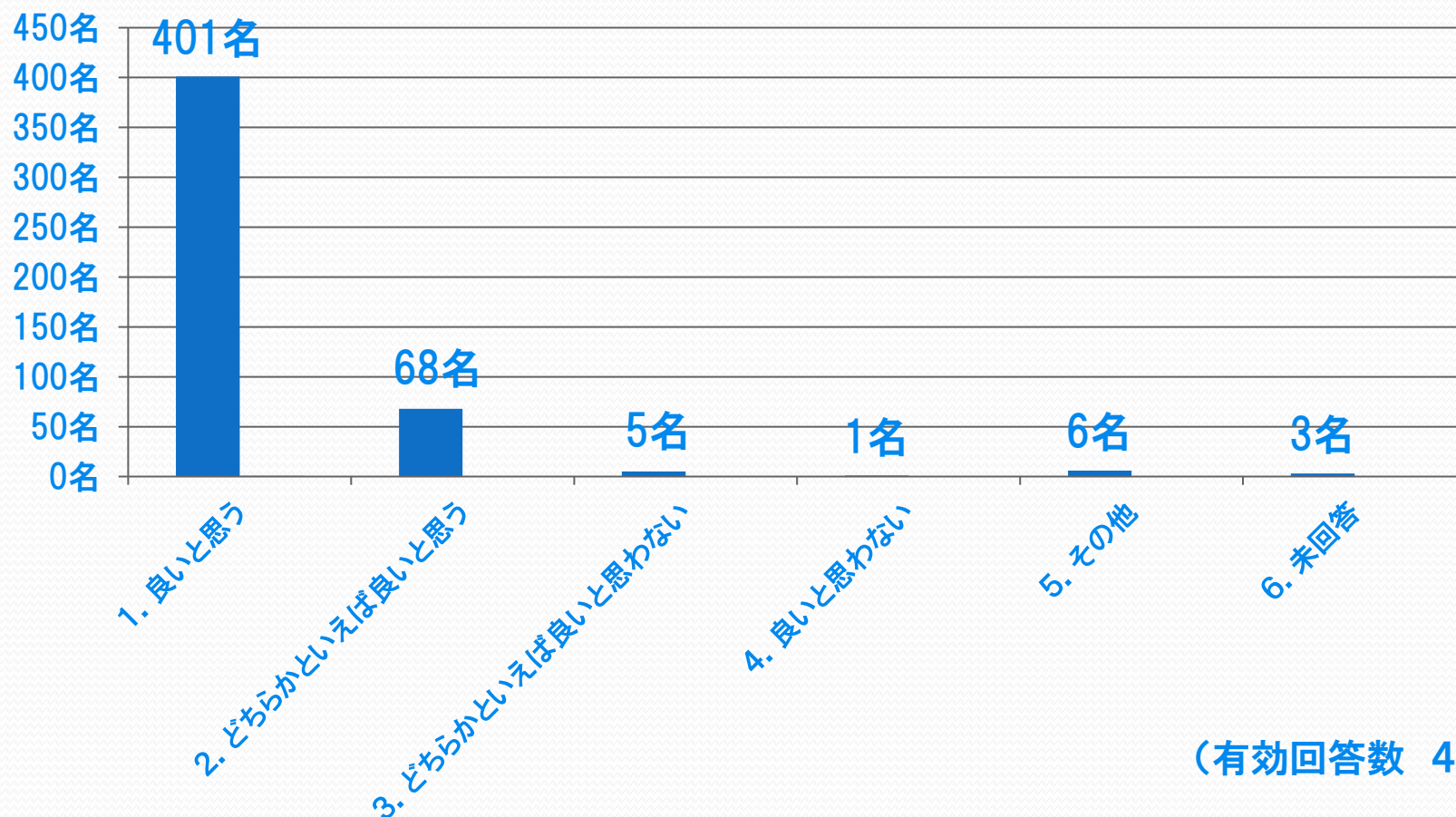
令和3年11月24日 中学校人権教室事前打合せ
内容: 事前リハーサル(進行の読み合わせ等)

令和3年12月3日 中学校人権教室
内容: あま市立甚目寺南中学校での啓発実施



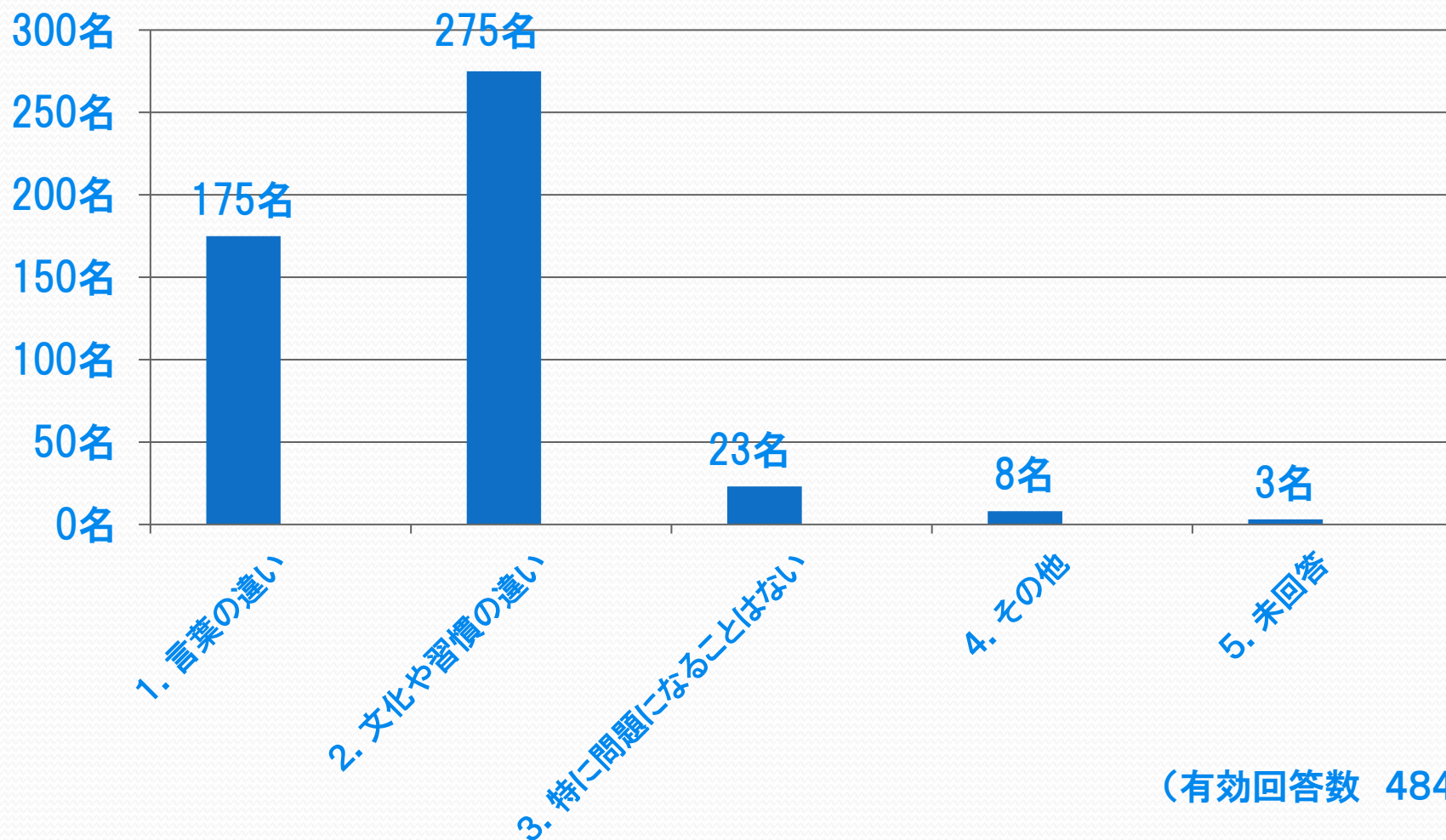
⑦ アンケートについて

問1 あなたは、日本人と在住外国人の方が共に理解を深めながら、みんなで住みやすいまちをつくっていかうという考え方について、どう思いますか。



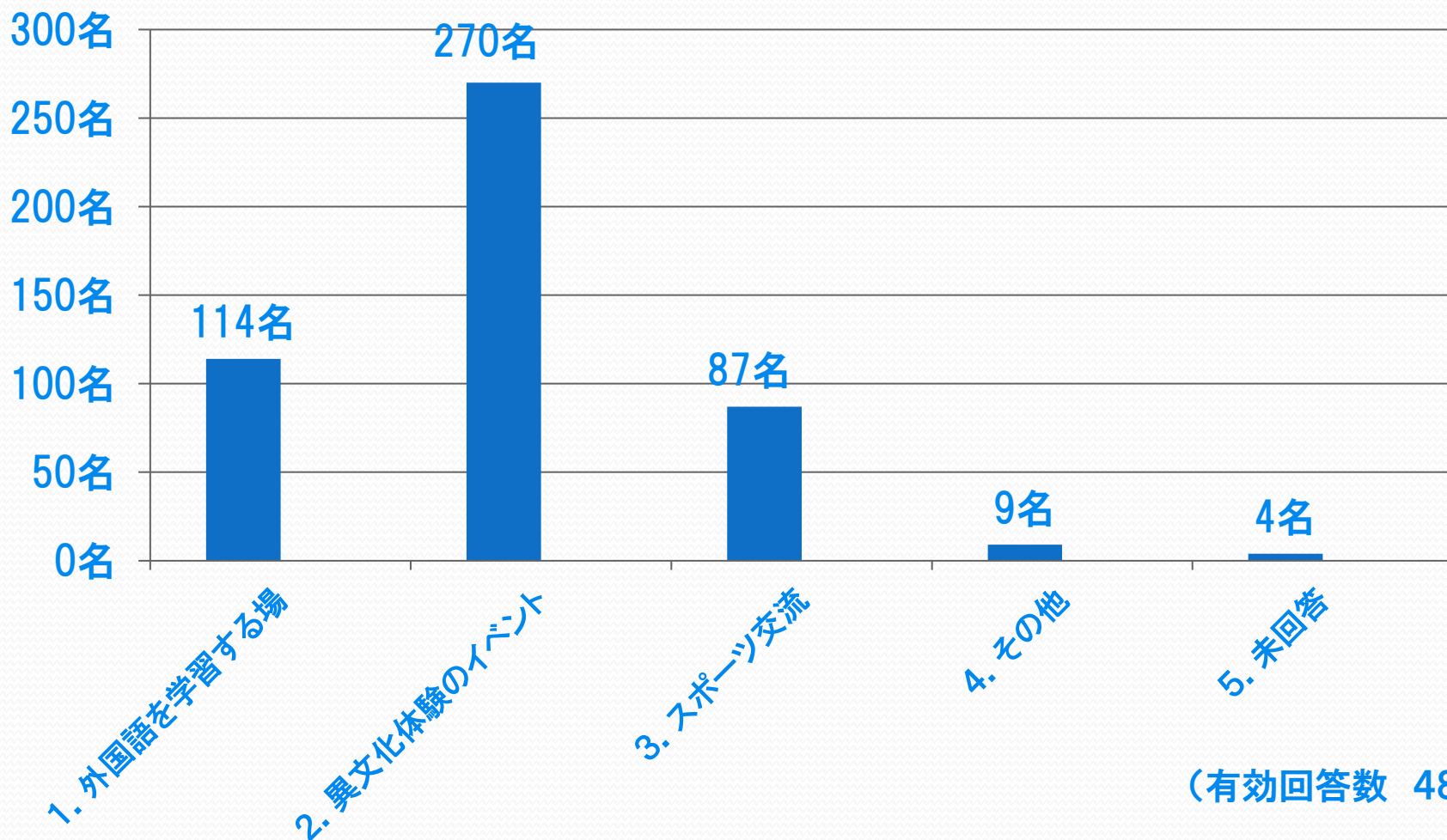
(有効回答数 484)

問2 あなたは、日本人と在住外国人の方が共に理解を深めながら、みんなで住みやすいまちをつくっていかうという考え方について、何が課題だと思いますか。

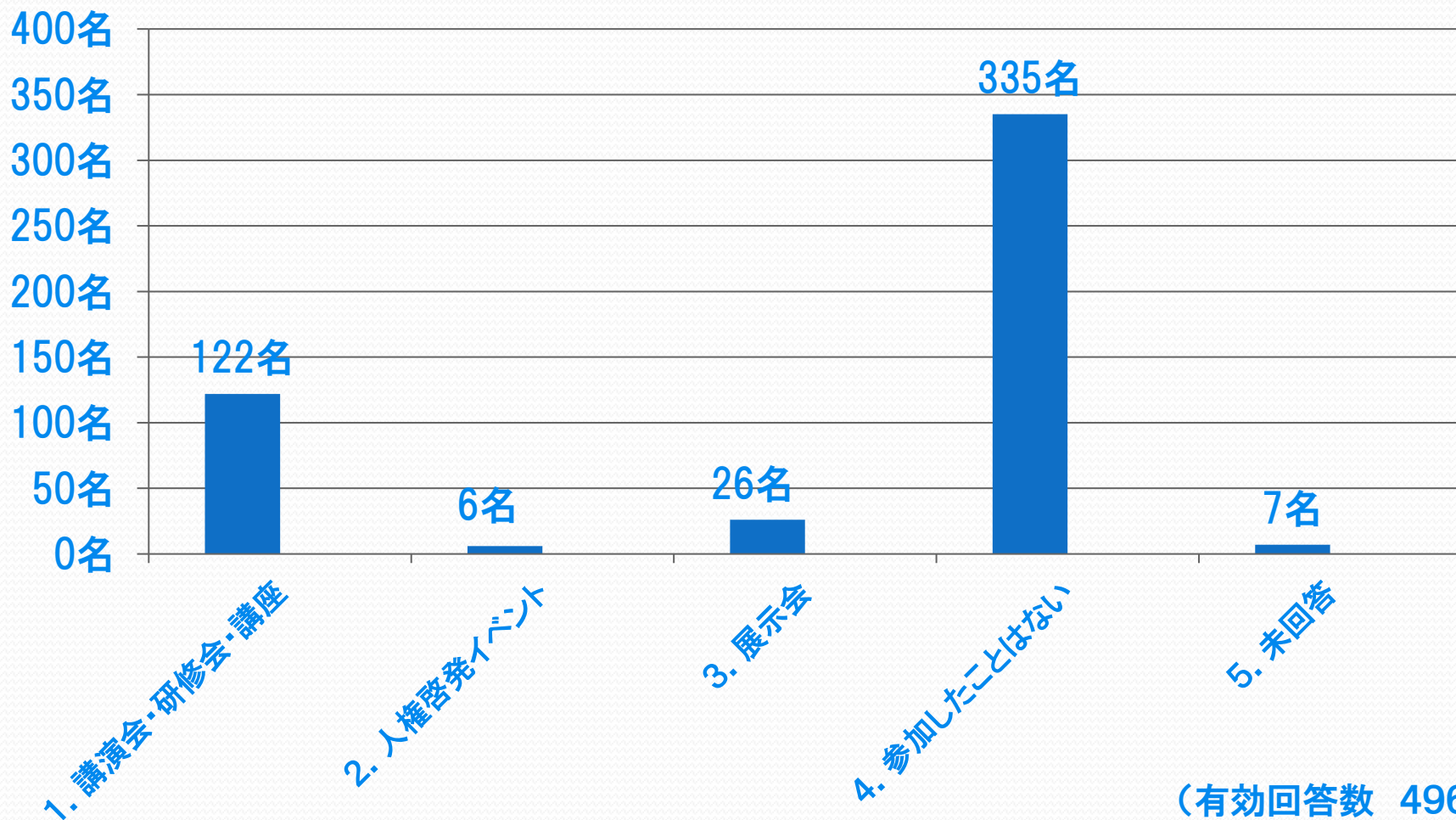


(有効回答数 484)

問3 あなたは、日本人と在住外国人の方がお互いに理解を深めるために何が重要だと思いますか。

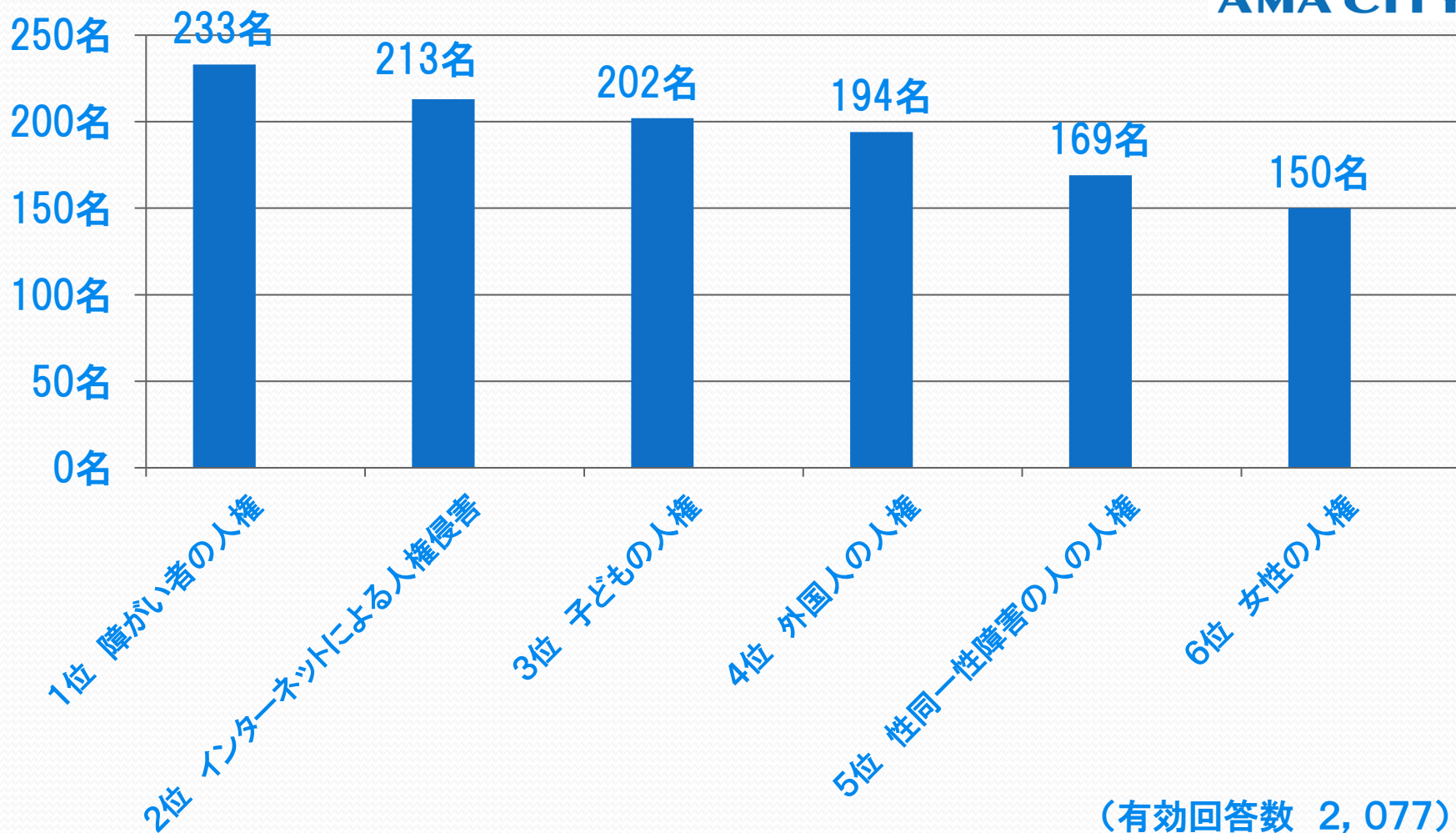


問4 今まで人権をテーマにした催しに参加したことはありますか。
あなたが参加したことのものを以下からお選びください。
(複数回答可)



(有効回答数 496)

問5 あなたが関心のある人権に関わる問題は何ですか。
以下からお選びください。(複数回答可)



(有効回答数 2, 077)

「外国人の方へインタビュー」の回答より（その1）



Q7.「たくさんの文化がともに暮らしていくためには何が必要？」

- ・日本語をもっと勉強してコミュニケーションを取ることが大事だと思います。
- ・何事も平和的に仲良くすること。
- ・みんなの考え方を受け入れること。
- ・遠慮しないで相談できる関係を作ることが大事です。
- ・相手を思いやる優しい気持ちを大事にすること。

「外国人の方へインタビュー」の回答より（その2）



Q8.「あま市の子どもたちにメッセージをお願いします。」

- ・外での挨拶が多くて嬉しい。みんな仲良くすごせますように。
- ・いつも、元気に挨拶をしてくれるのが嬉しいです。
- ・良い日本を作るために頑張って欲しいです。
- ・偏見を無くして欲しいです。外国人だからといって怖くないので。
- ・いつも笑顔で人と人との関係を大切にしてください。



⑧ 成果と今後の課題(まとめ1)

本事業では多文化共生について考える良い機会となり、外国人の人権について理解を深めるための一歩となった。多文化共生とは文化の異なる人びとが互いの文化を大切にし、自分の文化に誇りを持って、困らないように暮らしていくことである。

しかし、生活習慣や言葉が違う人々同士の間では、摩擦や誤解が生じることがある。今回、取材に協力していただいた外国人の方達の意見でもコミュニケーションを取れるようにしないといけないという回答を多数いただいた。言葉の壁によるコミュニケーションの課題を乗り越えて、お互いを尊重し合える関係性を築くことが重要であり、また、自分にとって当たり前でも相手にとって当たり前でないことが何であるのかを理解することも大切である。



⑧ 成果と今後の課題(まとめ2)

世界中の国や地域には、それぞれ異なった文化や宗教、言語などがあるが、広い視野に立って、それら多様性を理解し、受け入れ、尊重していく姿勢が国際化の時代を生きている私たちに求められており、まさに外国人の方との多文化共生についても同じことが言える。

人権問題が複雑化・多様化する傾向にある中、人権教育に求められるものは、その取組みの継続であると考えます。今後もこの事業で培った経験を踏まえ、人権教育の啓発・推進に力を注いでいきたい。



ご清聴、ありがとうございました。